

= あいさつ =

北部地域住民自治協議会
副会長 山本 喜昭

本年5月16日（火）北部地域住民自治協議会総会において副会長に選出されました。地域の皆様の負託に応えるよう努力してまいりますので色々ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

さて、秋田県の人口は9月1日現在99万6,307人となり、1年間で実に1万4,313人が減少している。驚くべき減少であると思います。これは若年層の流出、出生率の低下、高齢者の増加などなどの社会現象ですが、ライフスタイルの多様化などによって、地域社会への関心が低下と共に、近隣住民との連携が希薄化しているのではないかと思います。

しかし、人口が減っても文化資本は残せる。地域のまつりなど脈々と受け継がれているのもその表れでしょう。

地域の伝統文化を大切に、又、若者たちが進学や就職などでまちを離れた人々にふるさとの良さを懐かしく思い、帰って住み続けるような理想の故郷だと思わせるように取り組んでまいりたいと念じて居ります。

他の地域においてもボランティアを引き受ける人が不足して、役員の高齢化が大きな課題だと思います。

定年を迎える少し前から地域活動に目を向けて頂くと同時に、地域の社会生活が維持できるような共助の取り組みをもっと考えるべきだと思う昨今です。

「キタスカ」は、北部地域8地区の住民活動のサークル活動、教養を高める学習と健康増進の場として、活用して頂ければ大変有難く思います。

**平成29・30年度
北部地域住民自治協議会理事名簿**



役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会長	林 明夫		佐藤 清		佐藤 正朋	常任理事	米田 次男
副会長	渡邊 清明		加沢 哲		佐渡谷和裕	監事	新岡 巖
副会長	山本 喜昭	常任理事	石塚 實		齊藤 勝		中川 勉
常任理事	藤嶋 昇		大野 大作		清水銀次郎	常任理事	吹谷五十三
	秋本 升	監事	長谷川瑞子		伊藤 勉	常任理事	佐々木滝臣
常任理事	佐藤 公世		小野 明		石黒 伸也		伊藤 敬二
	大淵 勇	常任理事	伊藤 憲一	常任理事	牛嶋 道夫		

平成28年度 施設利用状況 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

利用者総数:120,410名 《内訳》 部屋利用:60,843名
 地域文化ホール利用:18,716名
 体育館利用:40,851名

一日平均 338名
の皆様にご利用
いただきました。

第7回 KITASKA(キタスカ)



まつり開催!

9月30(土)~10月1日(日)の2日間
延べ来館者数 2,612名

体育館内のイベント



❖作品展示❖
地域で活動している方々やサークルのみなさんの作品が展示され、来館者の方々の目を奪っておりました。



❖TROPPO(トロップ)の大道芸❖
軽快なリズムに合わせて、次々とパフォーマンスを披露してくれました。



❖北部地域特産物直売❖
新米・野菜・果物・お惣菜の他手作りの工芸品などが販売され、多くの方にお買い求めいただきました。



❖秋田臨港警察署 『地域応援隊プロジェクト』❖
地域と警察が一体となり「自分たちの町は自分たちで守る」という自主的な活動を初めて紹介。また、なまはげも参加してくれて、子どもたちに楽しい時間を提供してくれました。



❖魚釣りゲームを楽しもう❖
大人も子どもも楽しくゲーム!
たくさん釣れたかな?



地域文化ホール・部屋のイベント

たまこの歌謡漫談 ～歌と笑いは元気の源～



懐メロ歌謡曲、美空ひばりの
ヒットメドレー、秋田万歳など、
歌あり・笑いありのステージ。

客席に降り参加者の方々との和やかなひと
時、会場からお一人の方を舞台に誘い一緒にデ
ュエットをするなど、大いに楽しませてくれま
した。

秋田はもちろん、東北や北海道・
関東などで大活躍の『梅丸たまご
さん』小さな体から大迫力の声量
がほとぼしるように紡ぎ出され、
会場の熱気は一気に上昇。「会場
からは惜しめない拍手が送られて
いました。



◆芸能発表会◆

今年もたくさんの地域やサーク
ルの方々が出演してくださり、歌
や踊りに大いに盛り上がり会場
は超満員となりました。

◆ビートファイターAce◆

子どもから大人まで大人気のAce。
1時間15分の舞台に子どもたちは
大はしゃぎでした。



◆ペットボトルで 小物入れを作ろう◆

ペットボトルでリンゴの小物入
やファスナー付きの小物入れを
作りました。



◆フリー マーケット◆

1日目は荒天のため中止になり
ましたが、2日目は好天に恵まれ
たくさんの方が買い求めており
ました。

◆お茶会(裏千家)◆

毎年好評のお茶会。
今年もたくさんの人たち
が利用してくれました。



地域の おすすめスポット

第3回 金足地区



「追分駅1番ホームの横断幕」

～県立博物館で歴史と 秋田を学ぶまち 金足地区～

追分町内連合会
会長 藤原正三

追分駅に「県立博物館で歴史と秋田を学ぶまち 追分駅へようこそ!」の横断幕が掲げられています。ほんとうにその幕字の通りです。

県立博物館は、考古・歴史・民俗・工芸・生物・地質の6部門と、「菅江真澄資料センター」・「秋田の先覚記念室」からなる総合博物館として昭和50年に開館しました。各部門の研究の総合化と郷土学（秋田学）の体系化をめざすことを基盤とし、その成果を展示や普及活動に生かそうとしています。



秋田県立博物館

さらに、2019年までの中期ビジョンでは、これまで以上に「県民と共に」ありたいと強いメッセージを打ち出しています。その一つは「打って出る博物館」。遠く離れた県北・県南の方々へ展示のパッケージを提案したり、地域の講座や学校の授業などに学芸員を派遣します。また、常設展示や博物館教室の改変という「常識への挑戦」。さらに秋田のための人材育成を目指す「未来の学芸員養成講座」を実施します。秋田の博物館ならではの講座やイベントを実施したり研究成果や標本情報を世界に向けて発信します。開館以来40年にわたり築いてきたネットワークをさらに緊密にし、地域に貢献します。そのようにして、県民の「財産（タカラ）」を守り、育み、発信しているのが秋田県立博物館なのです。



菅江真澄センター入口

菅江真澄の記録『軒の山吹』に、金足が次のように紹介されています。

鮎田（あきた）の郡（こおり）神足（かなせ）庄、乱橋、八丁目、堀内、浦山、高田、下刈、犀の濱、鳩崎、小泉、長岡、福田、片田、黒川、青崎、岩瀬など村々に三月の二十四日（現在の5月初旬）ごとに山吹の花をもて軒に葺くのためしあり。

県立博物館ではこの記録の絵をもとに金足地区の風景を毎年5月頃、旧奈良家住宅を中心に再現しています。

県立博物館・菅江真澄資料センターなどの学習を済ませたら小泉瀉公園を散策してみましよう！



「菅江真澄の道・男湯 女湯」
菅江真澄は文化8年（1811）
小泉を訪れ記録した

水をおおく湛えている男湯は心をなごませてくれます。特に鳩崎公民館あたりからの眺めは絶景です。女湯周辺は絶好の散歩コースです。夏は噴水広場がおすすめ。野外音楽堂は、実は隠れたコンサート会場です。ちょっとひとひねりのアイデアで素晴らしい音楽会が企画できることでしょう。また、アスレチックコースあり、テニスコートもあり、広い芝生広場でのレクリエーション・グラウンドゴルフなどの軽スポーツも楽しめます。これらの利用については小泉瀉公園事務所へお申し込みください。

多くの方がここを何度でも繰り返し訪れて、博物館と公園の魅力をますます吸収してもらいたいものです。